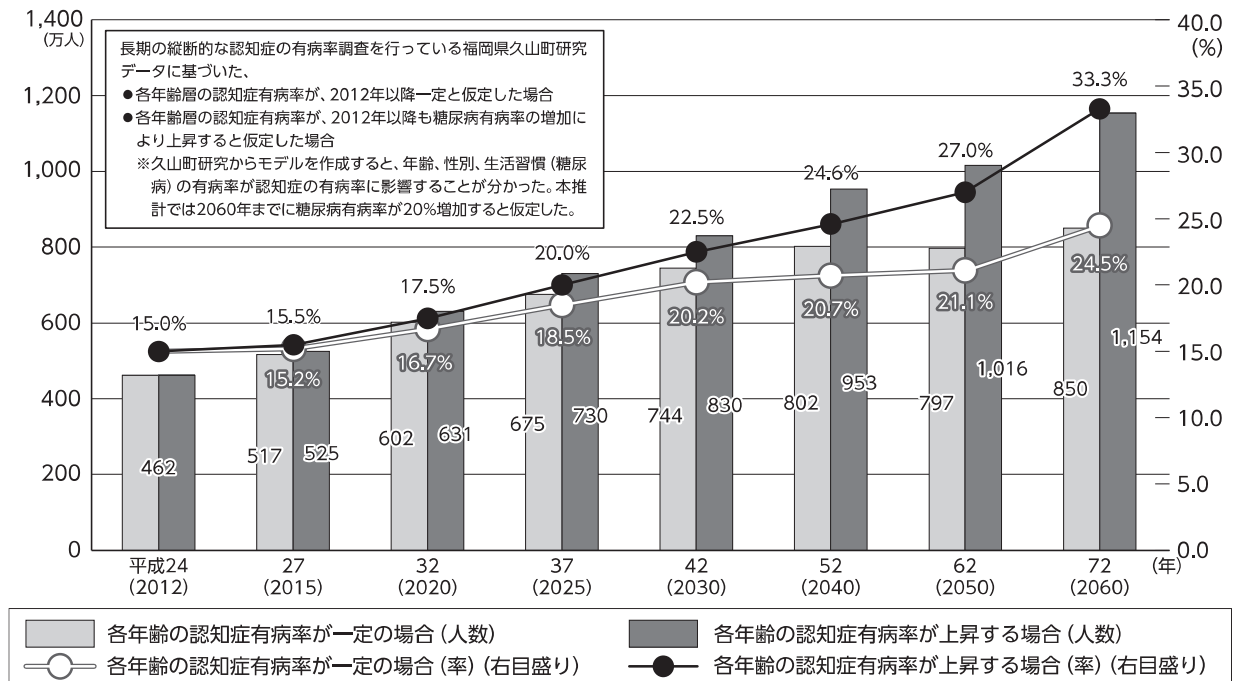


資料編

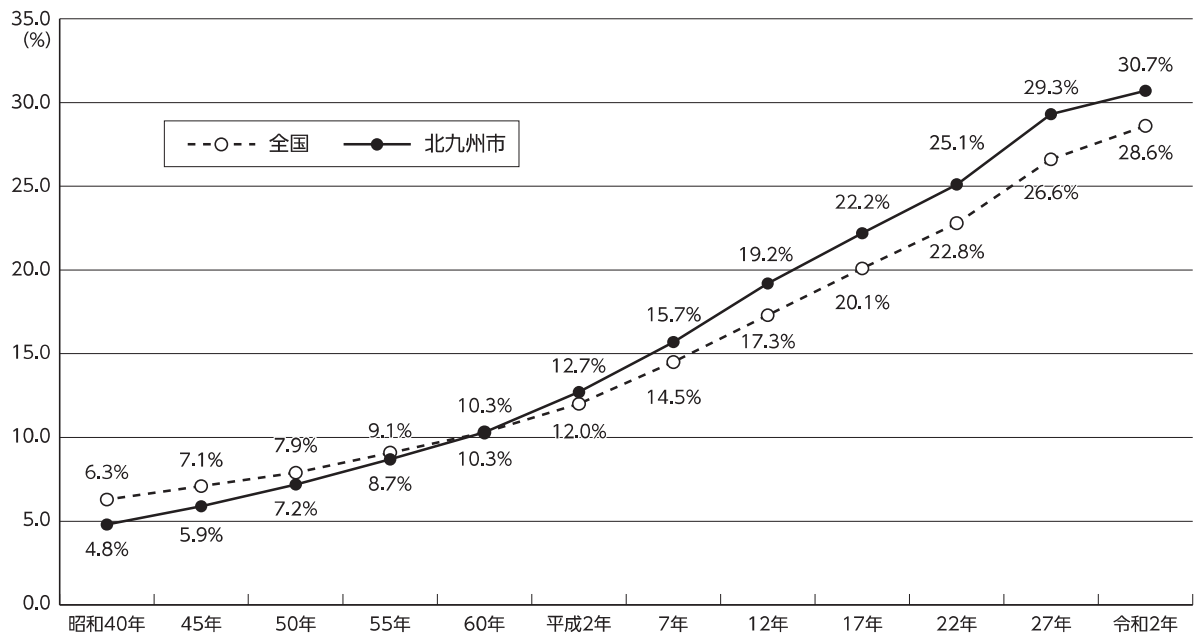
1 65歳以上の認知症患者の推定者数と推定有病率(全国)



資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授)より内閣府作成

【資料】平成29年版高齢社会白書(内閣府)

2 高齢化率の推移(北九州市と全国との比較)

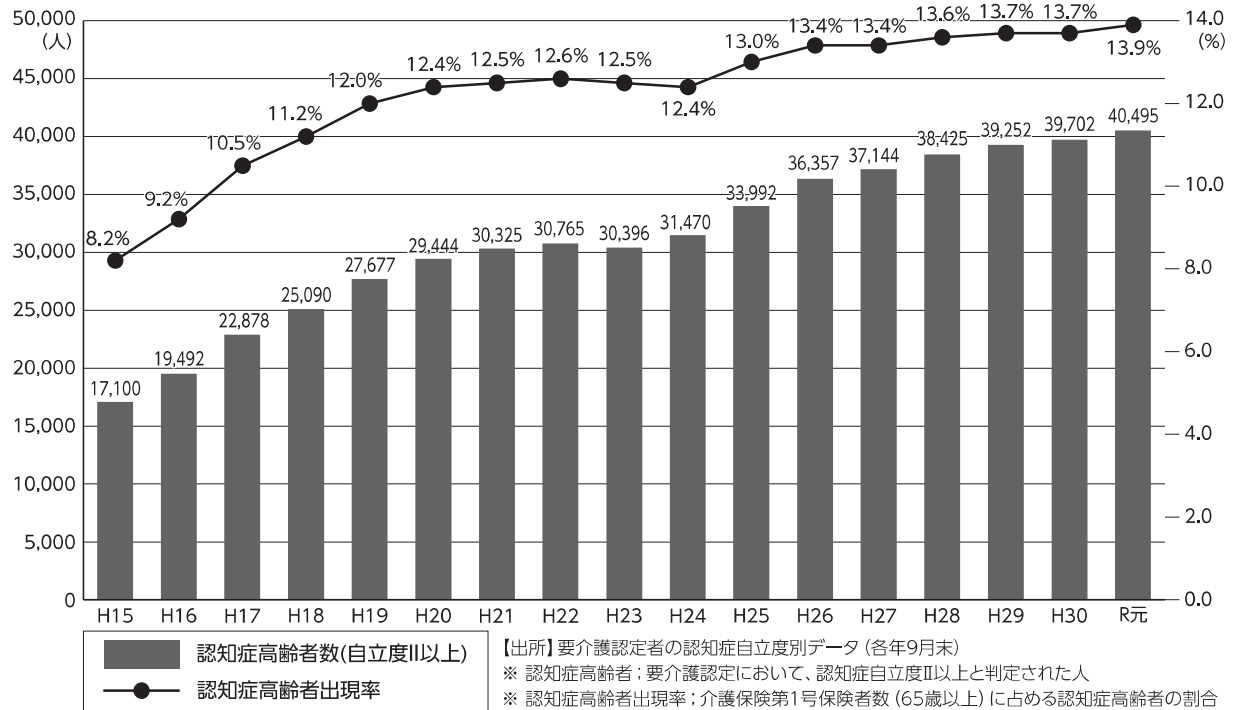


【出所】平成27年までは総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

※令和2年は、北九州市が住民基本台帳(令和2年3月31日現在)

※全国の令和2年は総務省統計局「人口推計 2020年(令和2年)4月1日現在(概算値)」

3 本市における認知症高齢者数の推移



4 本市における要介護認定者の認知症自立度の状況

要介護度	要介護認定者数	認定者数のうち自立度Ⅱ以上
要支援1	8,530人	480人
要支援2	9,912人	573人
要介護1	14,770人	12,985人
要介護2	11,089人	8,688人
要介護3	8,117人	6,883人
要介護4	7,483人	6,544人
要介護5	4,676人	4,342人
合計	64,577人	40,495人

【出所】要介護認定者の認知症自立度データ(令和元年9月)

5 認知症支援・介護予防センターの運営に関する連携協定について(H28.4.1)

認知症支援・介護予防センターの運営に関する北九州市と関係団体(下記)との連携協力協定の締結

- ・ NPO 法人老いを支える北九州家族の会
- ・ 認知症・草の根ネットワーク
- ・ 公益社団法人北九州市医師会
- ・ 一般社団法人北九州市歯科医師会
- ・ 公益社団法人北九州市薬剤師会

【 概 要 】

北九州市では市民一人ひとりが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、地域社会の実現を目指してさまざまな取り組みを進めています。その中でも社会的な課題となっている「認知症」と「介護予防」についてさらに力を入れて取り組むため、「北九州市認知症支援・介護予防センター」を平成28年4月1日に開設しました。

ここでは、認知症の人やその家族の日常生活を支援するとともに、地域での主体的な介護予防活動を総合的に推進する役割を果たすため、認知症の人やその家族、地域で活動する市民の方を中心に、医療などの専門職団体や行政など関係者が思いや志を共有し、力を合わせて認知症や介護予防の課題に取り組んでいきます。

〔連携内容〕

- (1) センターの運営に関すること
 - ・ 認知症の人や介護家族の支援に関すること
 - ・ 認知症の早期発見・早期対応に関すること
 - ・ 認知症高齢者の安全確保に関すること
 - ・ 若年性認知症の人の支援に関すること
 - ・ 軽度認知障害(MCI)に関すること
 - ・ 介護予防の取り組みに関すること
- (2) 医療との連携に関すること
- (3) 福祉・介護に関する団体との連携に関すること

6 「北九州タクシー協会」「福岡県警察」「北九州市」の連携協力協定(H26.11.25)

認知症による徘徊高齢者等の早期発見・早期保護に関する「北九州市」、「北九州タクシー協会」、「福岡県警察」との連携協力協定の締結

【 概 要 】

認知症高齢者が徘徊により所在不明になった場合、その多くは自力で帰宅したり、無事に保護されたりしますが、なかには行方不明のままのケースや死亡発見されるケースもあります。これまで、本市では認知症の方の安全確保に対する取り組みとして、認知症などによる徘徊行動で所在不明となった場合に、警察をはじめとする行政機関や、交通機関、地域組織が連携協力し、行方不明者の早期発見・早期保護を図る「徘徊高齢者等SOSネットワークシステム」を各区で実施してきました。

今後、さらなる認知症の方の安全確保に対する取り組みを推進するため、

- ・ 認知症による徘徊行動で所在不明となった高齢者等の早期発見・早期保護体制の充実(特に夜間の見守り体制の強化等)
- ・ 認知症に対する正しい知識の普及啓発

を目的として、一般社団法人北九州タクシー協会、福岡県警察本部・北九州市内警察署と本市で連携協定を締結しています。

〔連携内容〕

(1) 徘徊高齢者等の早期発見・早期保護体制の充実

- ・ 「徘徊高齢者等ネットワークシステム」にかかる探索依頼、探索解除の情報提供(関係機関、タクシー運転に従事している従業員に対する無線連絡等)
- ・ 所属する職員や従業員などに対する、「認知症サポーターメール」への登録推奨

(2) 認知症に対する正しい知識の普及啓発

- ・ 所属する職員や従業員などに対する、「認知症サポーター養成講座」の受講推進 等